



Hand - in - Hand

江南市立布袋北小学校

No.2

9月16日

愛知県では、青少年育成の一環として、「少年の主張愛知大会」を毎年開催しています。「心に思い、考えていることや感じていることなどを、少年らしい自由にユニークな発想で、飾り気のない言葉でまとめたもの」を5～6月頃に各中学校で募集しています。今年度は、宮田中学校3年の河野晃大（かわのあきひろ）さんが優秀賞（愛知県教育委員会賞）を受賞しました。そして、入選作品の中からもっとも共感できる作品として共感賞も受賞しました。

とてもよい作品だったので、12日（月）の業前の時間に本校児童全員に紹介することにしました。内容がかなり難しいところがあるので、1・2年生は各教室で担任が分かりやすい言葉に直しながら読み聞かせをしました。3年生以上は体育館に集まり、鍵野教頭先生が読み聞かせを行いました。



おかあさんがすごくやさしいなとおもいました。そんなつらいおもいをしているひとがいるんだあとかんどうしました。（1年生）

ゆめをあきらめないなんてすごい人だなと思いました。人のためにがんばることは、すごいいいことだと思いました。ほくもこんな人になりたいと思いました。（2年生）



この作文を聞いて思いました。「あきらめないで」このことばは、いろいろなことにかかわっていることがわかりました。おかげで「あきらめないで」ということばに勇気をもらいました。（4年生）

私は、この作文を聞いて、やっぱりたった一つしかない命は大切だと思いました。どんなことがあってもあきらめずにがんばっていきたいと思います。私たちのお母さんやお父さんはどんなことがあっても私たちを大切にしてくれていて、私も大きくなったらそういうお母さんになりたいです。（6年生）

